

JA静岡市東部営農経済センター：245-7527・東部購買店直通：245-7555

センター長	茶	苺・水稻・蔬菜	果樹	営農生活支援購買	購買
瀧口信也	折山	深井・片井	榮	大越	酒井・萩原・森川・鷲巣

静岡県 新型コロナ 応援金について

静岡県内に「まん延防止等重点措置」が適用されたことを受け、静岡県は現在国が実施している「月次支援金」を拡充する形で応援金を給付する。

- ◆ 条件：8月の売上げが前年、前々年に比べ30%以上～50%未満減少している事
※50%以上は月次支援金対象となり、重複はしません。
- ◆ 支給額：法人上限10万円、個人事業者には上限5万円を支給。

申請方法や時期など詳細は9月以降営農経済センターまでお問い合わせください。

『家の光』『地上』『ちゃぐりん』年間購読受付中!

(年間購読12月号～翌年11月号)

詳しくは最寄のJAへ

家の光…防災の事やハンドメイド、熱中症対策などなど、暮らしに役立つ情報が満載です。

ちゃぐりん…「食と農の学習」に役立つ企画がたくさん！勉強と遊びを両立した子供向け雑誌です。

地上…農協運動に参加・参画する仲間づくり、豊かな地域づくりに役立つ記事を提供しています。



JAの美味しいドリンク
好評販売中です♪

みかん日和
30本入
¥2,570



JA静岡茶
24本入
¥2,592



ポストニック
ウォーター
24本入
¥1,944



りんごジュース
30本入
¥3,402

営農実態調査について



提出期限が8月20日(金)となっており、未提出の方は最寄の支店までご提出ください。

除草剤キャンペーン

ザクサ液剤 9月末日まで
2ℓ⇒¥7,350
5ℓ⇒¥18,144



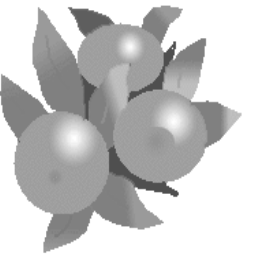
タッチダウンIQ
6ℓ⇒¥10,800



柑橘

【状況】

8月のスルガエレガント生育調査では、収穫推定階級でL中心となっています。昨年度より肥大は良好で、外観も目立った病害虫はほとんど見られませんでした。今後は小玉果や病害虫被害果を早急に摘果するようお願いいたします。これからの管理が収穫期に大きく影響してきますので管理の徹底をお願いします。また、暑い日がまだ続きますので熱中症などに気を付けて作業に当たるようにしてください。



スルガエレガント生育調査結果(収穫推定階級分布)

	3L	2L	L	M	S
R3	1.1%	15.9%	47.8%	29.3%	5.9%
R2	0.5%	14.4%	41.5%	32.9%	10.8%

・摘果作業

中晩柑：仕上げ摘果を終了していない園は、早急に行い果実肥大向上に努めてください。

早生温州：仕上げ摘果を9月上旬までに実施してください。摘果する果実は内成り・裾成り果・病害虫罹病果を中心に摘果してください。

青島温州：仕上げ摘果を9月中旬に実施してください。糖上昇と減酸との境目になる時期です。

【防除】

品 種	時 期	対象病害虫	農 薬 名	希釈倍率	使 用 基 準
温州みかん 中晩柑	9月中旬	スリップス類	ロディー乳剤(劇)	2,000倍	7日-4回
		ミカンハダニ	ダニコングフロアブル	4,000倍	前日-1回
		黒点病	ペンコゼブ水和剤	600倍	温州 30日-4回 中晩柑 90日-4回

※9月以降のダニは着色に影響を及ぼすため丁寧な薬剤散布を心掛けてください。

※青島温州の浮皮対策・・・ジベレリン+ジャスモメート液剤の散布(取り寄せ注文)

散布時期：満開130日後(青島温州で9月中旬頃)農薬との混用不可もしくは、バイカルティなどのカルシウム剤散布

※ポンカン等年内に収穫を実施する中晩柑はペンコゼブ水和剤に代わってオキシンドー水和剤801,000倍(30日-3回)を散布してください。

※台風等の影響により褐色腐敗病の発生が懸念される場合は、ランマンFL2,000倍を樹の下半分に散布する。

落葉果樹

作物名	時 期	病 害 虫 名	農 薬 名	希釈倍率	使 用 基 準
梨	9月中旬	黒星病	キノンドーフロアブル	1,000倍	3日-9回
柿	9月上旬	うどんこ病・炭そ病	ストロビートライフロアブル	3,000倍	14日-3回
	9月中旬	カメムシ類	テルスター水和剤	1,000倍	14日-2回
キウイ	9月上旬	果実軟腐病	ベルコート水和剤	1,000倍	前日-5回
	9月下旬	クワシロカイガラムシ	アプロード水和剤	1,000倍	前日-2回

9月の気温も平年並みかやや高い予報です。熱中症に気を付けて作業してください。

茶

秋芽開葉期	炭そ病、もち病、網もち病 ウンカ、スリップス	ドイツポルドーA スタークル顆粒水溶剤	500倍 2,000倍	14日	混
※ ホコリダニ・サビダニの発生が懸念される場合は、スタークル顆粒水溶剤に代えて、 ハチハチ乳剤 1,000倍(14日) (劇) を散布する。					
9月中下旬	クワシロカイガラムシ	スプラサイド乳剤 (劇)	1,500倍	14日	単
		アプロードエース707アブル	1,000倍	14日	単

秋肥：秋肥は充実した樹体や根を作るのに重要で、来年の一番茶の品質、収量に影響します。

第1回目：8月下旬 ・ 第2回目：9月中旬 **各時期：茶配合5袋/10a当り**

※ 肥効を高める為に土壌に水分がある時の施肥、施肥後は出来るだけ土と混ぜて下さい。

※ 施肥効果を上げるため、1回目と2回目を14日程度あけて下さい。

水稻

1、水管理

- ① 穂ばらみ期～出穂期は最も水を必要とする時期なのでたん水状態にする。
- ② 出穂後は間断灌水とする。(3日間を目安に落水とたん水を繰り返す)
- ③ 落水は出穂後30日ごろとする。**気温が高い年に早期落水すると乳白粒等の高温障害が多発する要因になるので注意する**

穂ばらみ期とは出穂20日前くらいから出穂するまでの時期です。

2、収穫時期

- ① 1穂中90%の籾が黄金色になったころが目安。
- ② 気温が高い日が続くと収穫時期が早まるので、刈遅れに注意する。



- 3、静岡県防除所発生予察 (8月予報)
- ・いもち病(小) ・紋枯病(多) ・ごま葉枯病(多) ・カメムシ(やや多)
 - ・コブノメイガ(やや小) ・イネツトムシ(並) ・ウンカ(やや多)

穂いもち、ごま葉枯病に注意！

出穂時期に雨天が続く、いもち病の発生が心配されます。また、内えい褐変病、ごま葉枯病などの症状も見られますので、ご注意ください。

(出穂時期に強風に当たり、穂が変色している場合もあります。)

★防除薬剤：ブラシン(フ) 1,000倍 7日前まで 2回以内



内えい褐変病



ごま葉枯病

トビイロウンカ情報 (静岡県病害虫防除所)

・7月中下旬発生数：少

・予察灯誘殺数：多

⇒ JA 静岡市管内の調査では、トビイロウンカは確認されていませんが、予察灯誘殺数は『多』となっていますので、圃場の株元も観察を行い、ウンカが確認された場合は防除をお願いします。

☆詳しくは静岡県防除所ホームページをご確認ください。

いちご

育苗ラストスパートです！！病害虫防除や温度管理に気を付けて良質苗の定植が出来るよう頑張ります。向こう一か月予報(8/14~9/13)では、期間前半は天候が崩れますが、その後は回復する予報です。また、気温は高くなる予報です。高温多湿となる傾向にありますので、昨年以上に炭疽病対策を徹底して下さい。

1、切り離しからの管理

- ① 育苗中の**肥切れ**は芯止まりにつながります。試験紙を用いて、こまめに確認しましょう。
→暑い日が続くと地温が高まると、水は吸えても肥料は吸えなくなってしまい、肥切れになる恐れがあります。暑い時間の地温を下げる工夫が必要です。(寒冷紗など)
- ② 切り離し時にI B化成S1号を子苗ポットへ1粒施用。(肥効は10日~14日程度)
※9月以降は液肥での管理として下さい(硝酸態窒素濃度50ppm~100ppmを目安に。)
→葉面散布の場合は3日~5日間隔で散布。(EC0.5程度)
- ③ 朝夕しっかりと灌水を行い、培地の温度を下げる。(紙ポットは表面がしっかりと濡れるように)
- ④ 切り離し時に2~2.5枚。2週間間隔で葉かきを行い、2~2.5枚になる様に整理をする。
・・・定植1週間前に葉かきを行い、**定植時は4~5枚にする。**

2、炭そ病防除ローテーション(先月号の続き)

「本圃への病害虫の持ち込みがないように定植前はとくに入念な防除を行いましょう。」

時期	薬剤	RAC	倍率	回数	主な対象病害虫
9月2週目	アントラコール(水)	M3	500	2/6	炭疽
	エコピタ(液)	-	100	-	うどんこ・ハダニ
9月3週目	ゲッター(水)	1・10	1,000	3/3	炭疽
	プレオ(フ)	UN	1,000	2/4	ヨトウ
9月4週目	バルコート(水)	M7	1,000	5/5	炭疽・うどんこ
	ニッソラン(水)	10A	2000~3000	2/2	ハダニ

※定植前に小苗や本圃のコガネムシ防除を行いましょう。(ダイアジノンSLゾル)

3、定植時の確認事項

- ① 必ず分化を確認してから定植してください。検鏡は随時受付しています。
- ② 定植時は葉っぱ4~5枚でお願いします。(定植後2週間は葉かきしないこと)
※病害虫の発生が酷い場合は適宜除去をお願いします。
- ③ 土耕の場合は、大量の灌水等により除塩を行う。元肥は定植20日前までに施用しておく。
- ④ 高設の場合は、水のかけ流しを行い排水のECを0.3以下まで下げる。
→定植1週間前からEC0.4程度で給液を開始する。
- ⑤ 定植時の地温はなるべく下げ、根の伸長を促しましょう。(適温は18~23℃)
- ⑥ 定植後1週間は株元に手灌水を行い、新しい根を出させる。(新葉の展開を確認)

機械トラブルに注意！

定植後に給液異常が起こらないに十分注意しましょう。定植前に一度は実際に稼働させ、給液量や給液EC等が正常かどうかの確認を行いましょう！！

☆チェックポイント☆

□チューブのつまりはないか？

□給液量は正常に出ていそうか？

□給液ECは設定値どおりか？

適当な容器に入れ営農センターへご持参頂ければ、無料で測定致します。(EC、pH)